



ハートの入り江 見江島展望台（恋人の聖地）（南伊勢町）

平成27年第2回三重県議会定例会 9月定例月会議 伊勢志摩サミット関連事業などについて議論

伊勢志摩サミット開催に備えるための警備体制の強化や道路・交通安全施設の整備等に伴う平成27年度一般会計補正予算のほか、平成26年度企業会計決算認定議案などの審議を行い、「三重県人口ビジョン」「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの議論を行いました。

代表質問の主な内容 (2ページ)

- ・伊勢志摩サミットに向けて
- ・三重県教育施策大綱（仮称）中間案での知事の思いとは



一般質問の主な内容 (2~5ページ)

- ・「部局間連携」から「行政機関同士の連携強化」へ
- ・観光の産業化を
- ・地域医療の充実に向けて
- ・障がい者権利条例の制定を
- ・介護施設等の看護職員の研修体制づくりを
- ・ソーシャル・インパクト・ボンドの研究を
- ・国体をきっかけとしたレガシーの構築を
- ・クラウドファンディングの活用を
- ・鳥獣害対策を
- ・松阪市に建設される特別支援学校の開校に向けて
- ・がん患者や家族に対する相談・支援の充実を
- ・関西事務所の活動を活発に

10月20日の本会議で「地方創生の取組の着実な推進を求める意見書案」他6件を可決し、同月30日に副議長が国に対して意見書を提出しました。

本会議審議の結果 (6ページ)

主な活動内容 (7ページ)

- ・三重県手話言語に関する条例検討会
- ・インターンシップ実習生の受け入れ

議会の窓 (8ページ)

- ・傍聴のご案内
- ・テレビ・インターネット中継のお知らせ
- ・県議会だよりについてのお知らせ

代表質問

伊勢志摩サミットに
向けて

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ/津市選出)



問　来年5月開催の伊勢志摩サミットの国のテーマが未だ明示されていません。主催者である国のテーマが決定されていないことは、様々な関連事業を実施する上でも問題があります。国のテーマはいつ頃発表される見込みですか。また、県から早期発表を強く求めていくべきだと考えますが、いかがですか。財政面では、今後も多額の費用負担が予想されることから、自由度の高い「サミット開催特別交付金」を国に求めるべきだと思いますが、考えをお伺いします。

ためにも、教育施策の充実が不可欠です。そんな中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、首長が教育の基本的な方針等を示す教育施策大綱を定めることとなりました。そこで、「三重県教育施策大綱」（仮称）中間案の中で、知事はどういった点を最も重視し、強い思いを込めているのかお聞かせください。

あります。国のテーマはいつ頃
発表される見込みですか。また、県から早期発表を強く求めてい
くべきだと考えますが、いかが
ですか。財政面では、今後も多
額の費用負担が予想されること
から、自由度の高い「サミット
開催特別交付金」を国に求める
べきと思いますが、考えをお伺
いします。

三重県教育施策大綱（仮称） 中間案での知事の思いとは



催のモデルとなる
ような財政支援ス
キームについて、
東海三県一市で連
携し、国に対して強く要望して
いきます。





答

自立と共生の力を育む
「生き抜いていく力」の育

成」と、安全安心な教育環境を整える「教育安心県の実現」、さらに「地方創生」と「協創」の視点から「三重ならではの教育の推進」と「教育への県民力の結集」を基本方針の中で特に重視しています。そして、教育に携わるすべての者が、「毎日が未来への分岐点」という共通認識をもつて教育活動にあたることを、この大綱全体を貫く基本精神として位置付けたいと考えています。

A cartoon illustration of two children. On the left, a girl with brown hair in pigtails, wearing a red dress over a white collared shirt, is waving her right hand. On the right, a boy with short brown hair, wearing a blue long-sleeved shirt and dark shorts, is smiling and looking towards the girl. They are standing on a light-colored ground.

答 県民の皆さんに成果が届き、幸福実感が高まるように取り組んでいくためには、できない理由を述べる前にできる方法を探す、結果としてよい結論がないかもしれないが常にできる理由を探す、そういうった目線・視線が不可欠であり、全職員にしっかりと浸透させていきます。その他の質問事項 ○県立病院の医療体制について ほか

「部局間連携」から「行政機関同士の連携強化」へ

青木 謙順 議員

(自民党) 津市選出

問

県と市町などが絡む事業の場合、相互の連携が悪く、住民がたらい回しにされることがあり、できない理由を探すかのような行政の対応に悩む方はたくさんいます。今後、三重県では大きな行事が続々、関係団体や地域住民との連携は不可欠です。今後も県政の基本姿勢は「できない理由を考えるのではなく、できる方法を一緒に考えていく」であるのか、知事の所見をお伺いします。

「部局間連携」から「行政機関同士の連携強化」へ

一般質問

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。（三重テレビ 7ch+d ボタン）

観光の 産業化を

問

東 豊 議員
(鷹山／尾鷲市・北牟婁郡選出)



答

地域の観光振興には土産物の原材料の地域調達率など地域への経済効果等のデータに基づいた科学的アプローチが必要だと思います。こうしたデータから、地域の事業者の連携を促したり、観光の産業化に向けて、地域全体の観光マネジメントを一体化する、^③着地型観光のプラットフォームづくりを行つたりすることが必要だと思いますが、いかがですか。

本年5月から、市町等と県で構成する「三



シーカヤック体験

重の観光営業拠点運営協議会」において、日本最大の遊び、体験予約サイト「アソビユ」を連携し、地域の観光資源の販路拡大、流通促進に取り組んでいます。今後も市町等と連携し、三重の魅力ある観光資源を活用した着地型観光の取り組みを積極的に進めます。

○三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）における基本的な視点について ほか

地域医療の 充実に向けて

問

今井 智広 議員
(公明党／津市選出)



生活上の最低限のセーフティネットである医療については充実を図つていかなくてはいけないと考えています。専門医の適切な配置も重要ですが、一方で医師の偏在も解消できません。そのような中、^④総合診療医（家庭医）の役割は今後さらに大事になります。そこで、今後地域医療体制の整備の中で、総合診療医に期待することについてお伺いします。

答

今後、高齢化が進展していく中で、地域において患者に寄り添う総合診療医の役割は、一層重要になると考えています。県では、地域医療体制の確保に向け、県内の関係者とも連携しながら、^⑤後期臨床研修プログラム（三重専門医研修プログラム）を活用して、総合診療医の育成を図つてまいります。



○三重創生に向けた医の育成を図つてまいります。
○伊勢志摩サミットについて ほか

障がい者権利条例の 制定を

問

藤田 宜三 議員
(新政みえ／鈴鹿市選出)



昨年、国は国連の「障害者権利条約」を批准しました。この条約では、すべての障がい者的人権や基本的自由の完全実現を確保、促進する一般的義務を定めるほか、障がい者の様々な権利実現のためにるべき措置が規定されています。そこで、三重県においても障がい者の権利を守るために「三重県障がい者権利条例」を制定すべきと考えますが、いかがですか。

答

当事者や関係団体等の意見も伺いながら、まずは、障害者差別解消法で定められた職員対応要領の策定・実施や障がい者差別に対する相談や解決のための体制整備などを順次進め、そのうえで、条例の制定については、今後の政令や法律施行後の実施状況等もふまえ、その必要性も含めて検討していきます。



介護施設等の看護職員の 研修体制づくりを

問

前野 和美 議員
(自民党／津市選出)



従来から訪問看護や介護施設の看護職員を対象に研修の機会を提供していますが、今年度は研修内容の一部にe-ラーニングを取り入れるなど、より研修に参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。今後も研修機会の一層の確保に取り組むとともに、研修のフォローアップについても検討していきます。

答



○三重県生活衛生営業指導センターの役割と活動 ほか

ソーシャル・インパクト・ボンドの研究を

小島 智子 議員
(新政みえ/桑名市・桑名郡選出)



2010年にイギリスで始まった^⑦ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の取り組みは他国にも拡大しており、国内でも横須賀市が特別養子縁組推進の試験事業を始めるなどの取り組みが始まっています。今後、国がモodel事業を募集することも考えられ、あらかじめ、どのような形での実施が可能かなどの研究を進めておくべきと考えますが、

知事の所見をお伺いします。

答

SIBは、新たな政策実現の手法として注目が高まっています。SIBは



分野でも様々な推進のほか介護など様々なSIBは、新たな政策実現の手法として注目が高まっています。SIBは

- 多様性をさらに強みに～LG BT支援宣言を三重の地から～ほか

国体をきっかけとしたレガシーの構築を

中川 正美 議員
(自民党/伊勢市選出)



平成33年に三重県で開催する国体では、施設整備など「有形のもの」から、人づくりなど「無形のもの」まで、幅広い分野でレガシー（遺産）を築いていくことが重要だと考えます。国体の開催をきっかけに、スポーツの振興やスポーツを通じた人づくり、地域の活性化につなげ、後世に残る三重らしいレガシーを築いていただきたいと思いますが、どのようにお考えですか。

答

国体の開催を一過性のものとしないため、子どもたちがスポーツになる取り組みなどを盛り込んだ「開催基本構想」の策定に取り組ん



三重交通Gスポーツの杜 伊勢 陸上競技場整備事業 (完成イメージ図)

分野でも様々な推進のほか介護など様々なSIBは、新たな政策実現の手法として注目が高まっています。SIBは

- その他の質問事項
- 三重県版タイムラインの策定
- ほか

クラウドファンディングの活用を

芳野 正英 議員
(新政みえ/四日市市選出)



NPOなどの市民社会組織(CSO)に対する支援として、^⑧クラウドファンディングの手法を使い、県のホームページの中に、各CSOへの寄付を集めるプラットホームのサイトを立ち上げている県もあります。本県でも同じような取り組みができないでしょうか。CSOに対するクラウドファンディングの取り組みについての県の考えを聞かせてください。

答

NPO法人の多くは財政基盤が弱く資金調達が課題となつており、県ではNPO法人等を対象にした資金調達に関するセミナーを開催しています。今後も関係機関・団体等と連携しながら、必要な情報提供や各種相談に応じていきます。

NPOグレードアップセミナーの様子

NPO法人の多くは財政基盤が弱く資金調達が課題となつており、県ではNPO法人等を対象にした資金調達に関するセミナーを開催しています。今後も関係機関・団体等と連携しながら、必要な情報提供や各種相談に応じていきます。

- その他質問事項
- 「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画（仮称）」について
- 県産牛の現状とこれからの展望
- ほか

鳥獣害対策を

野口 正 議員
(自民党/松阪市選出)



鳥獣害については、県はもちろん市町でも大きな問題となっています。せっかく育てた作物を収穫前に食べられ、農家にとつては死活問題です。イノシシやシカ等の鳥獣には地域意識はなく、工場を求めて市町間を移動しておられ、市町だけでは対応できません。県は鳥獣害の対策をどのように考へておられるのかお聞きします。

答

県では、市町や関係団体と連携し、「被害対策」「生息管理」「獣肉等の利活用」の3本柱で総合的に獣害対策に取り組んでいます。地域の取り組みが効果的に進むよう、大量捕獲技術の普及など様々な事業を展開しており、今後も、市町や関係団体と連携して被害減少に向けた対策を講じてきます。



侵入防止柵

県では、市町や関係団体と連携し、「被害対策」「生息管理」「獣肉等の利活用」の3本柱で総合的に獣害対策に取り組んでいます。地域の取り組みが効果的に進むよう、大量捕獲技術の普及など様々な事業を展開しており、今後も、市町や関係団体と連携して被害減少に向けた対策を講じてきます。

県では、市町や関係団体と連携し、「被害対策」「生息管理」「獣肉等の利活用」の3本柱で総合的に獣害対策に取り組んでいます。地域の取り組みが効果的に進むよう、大量捕獲技術の普及など様々な事業を展開しており、今後も、市町や関係団体と連携して被害減少に向けた対策を講じてきます。

いて、県内の医療機関を口一
テーションしながら専門医
を確実に取得できる仕組み
のことです。

6 地域包摶ケアシステム

高齢者が重度な要介護状態になつても、住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のことです。

7 ソーシャル・インパクト・ボンド

社会保障費などの削減につながる事業を、民間が募つた資金を元手に民間が実施した結果、目標が達成された場合には、削減できた行政コストに応じて行政から民間報酬を支払う制度のことです。

8 クラウドファンディング

群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、クリエイターや起業家が製品・サービスの開発、もしくはアイデアの実現など、「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることです。

9 関西圏営業戦略

関西圏における三重の認知度や存在感をさらに高めるため、①効果的な情報発信②観光誘客③「食」の販路拡大支援④多様なネットワークの充実・強化を4つの基本的な方向として取り組む戦略のことです。

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

可決した議案

予算

- 平成27年度三重県一般会計補正予算（第2号）

条例

- 三重県薬物の濫用の防止に関する条例案 ほか6件

その他議案

- 工事請負契約について ほか13件

人事案件（同意）

- 公害審査会委員の選任につき同意を得るについて

認定した企業会計決算

- 平成26年度三重県水道事業道事業決算
- 平成26年度三重県電気事業決算
- 平成26年度三重県病院事業決算

採択した請願

採択した請願

- 子ども・子育て支援新制度並びに社会福祉法人制度について

- 介護福祉士等修学資金貸付制度の再開を求めるについて

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めるについて

- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めるについて

- 子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書案

- 学校における防災対策の充実を求める意見書案

- 地方創生の取組の着実な推進を求める意見書案

- 地方財政の充実及び強化を求める意見書案

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書案

不採択とした請願

- 国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保全について

可決した意見書

- 子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数並びに社会福祉法人制度に関する意見書案

- 子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案

- 学校における防災対策の充実を求める意見書案

- 地方創生の取組の着実な推進を求める意見書案

- 地方財政の充実及び強化を求める意見書案

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書案

- 公害審査会委員の選任について

- 防災対策の充実を求めるについて

- 公害審査会委員の選任につき同意を得るについて

三重県手話言語に関する条例検討会

手話は、聴覚障がいを持つ方々にとって、コミュニケーションや情報獲得の重要な手段で、音声言語と対等な言語です。

本県議会では、「三重県手話言語に関する条例検討会」を10月に設置し、手話の普及のための施策の推進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行っています。

請願と陳情の受付

県に対して意見や要望がある場合、どなたでも県議会に請願や陳情を提出できます。手続きなど詳細は、三重県議会事務局までお問い合わせください。

請願は、議員の紹介を受けて提出できます。提出された請願は所管の委員会で審査し、採択したり、県政に反映させるよう執行機関に働きかけたりします。陳情は、議員の紹介がなくても提出できます。提出された陳情は、とりまとめられたうえ、全議員に配付されます。

実習生には、県議会議員にインタビューを取り組みや議会事務局の業務内容を学んだりしてきました。たうえで、研究課題解決のための考察を発表していただきました。



正副議長に抱負を述べる実習生

今回の実習を通して、実習生からは、「地域行政を行う上で県議会や県議会議員が果たす役割を理解することができ、有意義な2週間を過ごせた」などの感想をいただいています。

引き続き各学校からの申し込みをお待ちしています。



昨年度の出前講座の様子

インターンシップ実習生の受け入れ

県議会では、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度から、インターナショナルシップ実習生を議会事務局において受け入れています。

今年度も、9月7日から18日まで、北海道大学公共政策大学院の学生を1人ずつ実習生として受け入れました。

昨年度は小中学校などの6校から申し込みがあり、約460人のみなさんに参加いただきました。参加した子どもたちからは、「所属している常任委員会ではどんなことをしていますか?」「なぜ議員になろうと思ったのですか?」「議員の仕事をしていくて嬉しいときやつらいときはどんなときですか?」などさまざまな質問が積極的に出されました。

みえ県議会出前講座のご案内

出前講座のご案内

会議の開催状況（会議の模様は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

9月

- 1日 人口減少対策調査特別委員会 知事への提言案について
- 15日 本会議 議案2件、認定議案4件上程
- 18日 本会議 議案に関する質疑（5人） 人口減少対策調査特別委員会 今後の委員会の進め方について
- 24日 本会議 一般質問（5人）
- 30日 本会議 一般質問（4人）

10月

- 1日 予算決算常任委員会 企業会計決算認定議案の審査
- 2日 本会議 一般質問（4人）
- 5～9日 各常任委員会・分科会 議案の審査、請願の審査、所管事項の調査
- 13日 人口減少対策調査特別委員会 人口減少対策に係る県の取組状況について 教育警察常任委員会 参考人からの意見聴取、請願の審査

■16日 本会議

- 代表質問（2人）
予算決算常任委員会
議案の審査

■20日 本会議

- 議案2件可決、認定議案4件認定、請願6件採択・1件不採択、意見書案7件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意、認定議案13件上程
予算決算常任委員会
一般会計・特別会計決算認定議案の審査

■26～27日

- 予算決算常任委員会
当初予算編成に向けての基本的な考え方の調査
■29日 予算決算常任委員会
一般会計・特別会計決算認定議案の審査（総括質疑）
本会議
議案1件上程

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聽取会、政策討論会議、広聴広報会議、委員長会議、議会改革推進会議役員会など、さまざまな会議を開催しています。

傍聴のご案内



- 本会議
・受付時間 本会議開始30分
前から

・定員 180人

・傍聴の方法

　　○議事堂1階の傍聴者用工
　　レベーターで6階傍聴受付
　　へお越しください。
　　住所・氏名などの記入は
　　不要です。

　　○傍聴券・資料などを受け
　　取り、入室してください。
　　手話通訳者・要約筆記者
　　をご希望の方は、事前に議
　　会事務局までお申し込みくだ
　　さい。ただし、お申し込
　　み日によつては、ご希望に
　　沿えない場合もありますの
　　でご了承ください。

○委員会・議案聴取会・全員協
　　議会・代表者会議・広聴広報
　　会議

・受付時間 委員会、会議開
　　始30分前から

・定員 10人（会議開始10分
　　前に定員を超えた場合は、
　　抽選で決定します。）

・傍聴の方法

　　○議事堂正面玄関右側の1
　　階受付で、傍聴券を受け取
　　り、各室の傍聴者入り口か
　　ら入室してください。

三重県議会定例会の日程

平成27年12月から平成28年2月までの日程は次のとおりです。

- 12月 2日、4日 本会議（一般質問）
7日～8日 予算決算常任委員会
9日～11日、14日 各常任委員会及び分科会
17日 予算決算常任委員会
18日 代表者会議、議会運営委員会
21日 本会議（採決、閉会）
1月12日 全員協議会
18日 本会議（開会）
2月 4日 代表者会議
12日 議会運営委員会
15日 全員協議会
18日 本会議（議案上程） 、全員協議会、
議案聴取会
19日 議案聴取会、議会運営委員会
25日 本会議（代表質問、質疑）
29日 本会議（一般質問）

この日程は、平成27年11月5日現在の予定です。
最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

 テレビ中継 インターネット中継

編集 三重県議会広聴広報会議

座長 中森 博文(副議長)
委員 中瀬古初美 田中 智也 濱井 初男
森野 真治 田中 祐治 野口 正
石田 成生 大久保孝栄 山内 道明
長田 隆尚

良田 陸

〒514-8570 津市広明町13

1314-8370 津市広明町13
三重県議会事務局企画法務課

三重県議会事務局正圖法務課
059(224)2877 FAX 059(229)1931

059(224)2877 059(229)1931
e-mail: gikai@pref.mie.jp http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



11



この広報紙は、再生紙と、
環境にやさしい植物油
インキを使用しています。

県議会だよりについての お 知 ら せ

県民の皆さん的情報入手手段
が多様化する中で、県議会だよ
りの情報発信の方法について、
現在、広聴広報会議で検討を行
っています。

次回の発行は平成28年(2016年)2月1日です。